

企画名：ネオニコフリー2020 with 生協ネットワーク21

団体名：生活協同組合連合会 コープ自然派事業連合

1. 報告要旨

ネオニコチノイド系農薬の影響から子どもたちを守り、生態系を復活させるためには、知る人を増やすことが必要だと考え、スマホでも視聴・拡散しやすい啓発素材としてアニメビデオ「みんなで選ぼうネオニコフリー」を制作しました。研究者等のアドバイスを得ながら、ネオニコチノイドは胎盤を通過し母子間移行することや、微量での経世代影響、口から入れなければ比較的短期間で体外に排出されることなどその危険性を伝えました。

コープ自然派の友好生協グループである生協ネットワーク21では、「ネオニコに安全レベルはない」「オーガニック推進」を2つのアプローチとして、連携してネオニコフリーに取り組み、有機農業を推進しています。COVID19の影響により活動が制限されましたが、上記のビデオ試聴を呼びかけ、一般では得にくい正確な情報を学ぶためにオンラインを活用して講演会や学習会を開催しました。

ネオニコチノイド系農薬を使用しない農家を応援し、買い支えるためのシステムとして、商品カタログへの「ネオニコフリーマーク」導入も連携して進めています。2017年度からマークを導入しているコープ自然派では組合員が選びやすいマークを表示することで、取り扱う農産物のうちネオニコ排除は91.6%、削減中5.9%、マークなし2.5%(2020年度)と一定の成果を得ています。一方で、ネオニコフリーマークの農作物からドリフト(農薬飛散)や誤使用により微量のネオニコチノイド系農薬が検出される問題もありました。農薬名では判別しにくいいため、産地交流を行い、生産者とともにネオニコチノイド系農薬学習会を開催し排除の意義を共有しました。ドリフトの危険を排除するには地域全体での取り組みが必要です。ネオニコフリーを買い支える人を増やし、産地と支えあう産直を広げたいと考えています。

また、農薬評価における無毒性量の見直しが必要ですが、現行安全基準の問題点として、環境ホルモンは低容量でホルモン攪乱が起きることや、臨界期、複合ばく露、子どもの脆弱性、軽世代影響が考慮されていないことが挙げられます。次年度は、子どもなど環境中の危険な化学物質の影響を受けやすい人を守るために、環境安全基本法制定に向けた国会への請願署名(主体:ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議)に取り組む予定です。

2. 成果物

1. コープ自然派事業連合/しこく・オリーブセンター「[木村-黒田純子さんオンライン講演会](#)」(2020.10.30)
2. アイチョイス事業連合「[配送スタッフネオニコフリー学習会](#)」(2020.11.6)
3. コープ自然派事業連合「[ネオニコチノイド系殺虫剤汚染と有機農業～こどもたちを守るための選択～](#)」(2021.11.9)
4. コープ自然派事業連合/しこく・オリーブセンター「[木村-黒田純子さんオンライン講演会](#)」(2021.1.11)
5. コープ自然派事業連合/しこく・えひめセンター「[木村-黒田純子さんオンライン講演会](#)」(2021.3.29)
6. コープ自然派事業連合「[オンライン産地交流/学習会：ネオニコチノイド系農薬と子どもの健康](#)」(2021.5.20)
7. アニメビデオ制作「[みんなで選ぼうネオニコフリー!](#)」(2020.10.30)
8. ナチュラルコープヨコハマ、[ネオニコチノイド系農薬不使用マーク表示開始](#) (米部門) (2020.9)
9. アイチョイス事業連合「[特集：ネオニコチノイド系農薬について](#)」『[飲びの木](#)』(2021.4.1)
10. コープ自然派事業連合、[ネオニコフリー取り組みページ](#)リニューアル
11. よつ葉生協、[ネオニコフリー取り組みページ](#)新設
12. 常総生活協同組合、[ネオニコフリー取り組みページ](#)新設